

労働保険事務

おまかせ下さい

(一社) 大森工場協会
労働保険事務組合

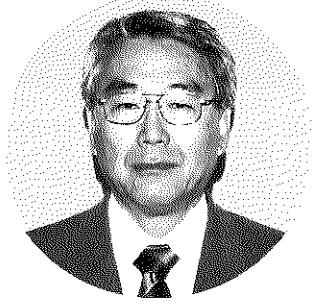
一般
社団
法人

大森工場協会会報

第75号

平成26年 8月 1日

発行 一般社団法人 大森工場協会
編集委員会
東京都大田区中央2-11-10
TEL 03 (3771) 4744
印刷 城南印刷工業株式会社
TEL 03 (3752) 3391



次世代における
ものづくり企業経営について

一般社団法人 大森工場協会 会長
株式会社 昭和製作所 代表取締役 会長
舟久保利明

会員の皆様方には、平素より(一社)大森工場協会の事業運営に対し、格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、二〇一二年十二月安倍内閣が発足し早や一年半が過ぎましたが、大手企業の業績は経済政策「アベノミクス」の金融緩和、財政投融资等による円安株高を追い風に大幅改善され、景気回復基調にて推移し、今後、従業員給与アップ、雇用の改善、設備投資増加への期待度もますます高まっています。そして、各種の報道機関では伝えられています。
しかしながら、中小企業のものづくり分野へ目をむけると、企業規模や業種、地域等によりバラツキ度が高く、必ずしも景況感が良いと感じ取れないのが実状です。現在の田区のものづくり中小企業は種々の統計からみても苦しい状況にあることは自明の事実となっております。

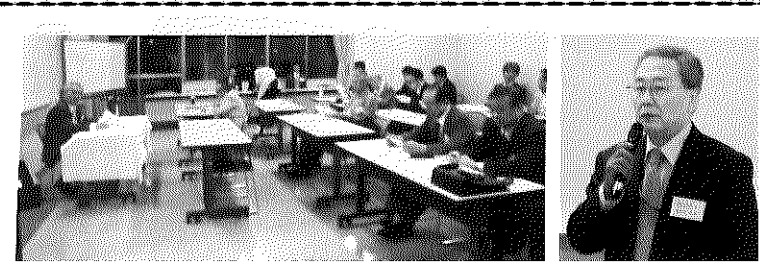
行政もこのことに対する政策の必要性を感じてきたようですが、重い腰を挙げたのは二〇一〇年を過ぎたころです。中小企業へのこのような状況に対し、それまでも様々な対策が講じられてきましたが、効果的な結果は得られず、ものづくりの衰退は続きました。新産業分野を目指す中小企業に対しての行政の行われ、補助金・補助金は過去からのやり方が惰性的に行われ、実効的政策には至りませんでした。申請手続きの複雑さ・交付決定後の内容調査の不在、終了後の評価の不在(ましてや追跡調査などは問題外!)、等々により、税金の無駄遣いが続きました。(現在でも全く改善されていません!)

「中小企業」は、本来「下請け」と同義でありました。下請とは大会社の生産能力のオーバードロインを担う役割で、こうした下請け企業群が、長年の技術の積み重ねと、地域的な進歩の中で、大田区はものづくりの大集積地となり、国内のナンバー1として君臨してきたわけでした。
しかし、一九九二年以降のバブルの崩壊後、大企業は生産拠点を海外に移したり、或いは海外調達をしたりして、下請の中小企業群は自然に衰退していききました。また、金型企業の定年退職者が中国に招聘され、日本国内の金型業者は壊滅的打撃を受けたことも見逃せない事実であります。(最近になって、中国からの回帰傾向が顕著化してきたと言われます。)

中小企業は生き残るために下請け状況から脱し、自立しようとする動きが出てきたのは必然です。
①産・官・学の連携(「コデーネーター」を介しての科学研究費の利用)
②異分野への進出(農林漁業・航空機・医療・介護・IT)
③新産業分野の創造(補助金の活用)
④自社技術の深化(コア・コンピタンスの確立)
⑤地域工場群の連携事業(「毎度1号」・「町のボブスレー」・「江戸っ子1号」・「e社」)
⑥インターネットの活用(人材及び受注確保のためのホームページの充実)
⑦展示会へ出展(国内・海外)
⑧受発注商談会
⑨公的資格の認証取得(ISO・産業別制定資格) ↓但し、国際規格)
⑩海外展開事業

人々は教わり方が上手、そして、中国人は教わったことを他人に教えない」と言う事実があるからです。一般的に下請企業は営業と研究開発部署を持ちません。親会社の指定した箱に入っている仕事図面を持ち帰り、その図面に基いて加工するだけで事が足りたからです。過去、下請企業は大企業の囲い込み政策としての協力会或いは協同組合等の排他的組織の中に組み入れられ、大過なく生産業務を遂行してきました。バブル崩壊後、それらは完全に姿を消し、団体としての活動はなくなり、温泉地の急激な衰退にも繋がりました。従来の下請の受注価格は大袈裟に言って「半値八掛け」となり、一次下請けの一部は何とか持ちこたえたものの、二次下請け以下となると満足に仕事も来なくなり、全体の企業数は激減した結果となりました。

その他枚挙に暇がないほど様々な工夫・手段が講じられてきました。最近、特にこの主体者は、若手の次世代経営者達が多いのが特徴的です。彼らは、ドンブリ勘定の、交際費多用の経営から脱し、借り物でない経営計画やキャッシュフローの考え方をしつかり考慮した経営を目指しています。また、中高年を中心としたハローワークに頼らない新規の人材獲得にも余念がないのと同時に、入社後の人材教育にも力を入れていると聞きます。
これまで、大田区は高度に発展したものの「集約地」として日本に君臨し、加工技術的ノウハウを獲得しながら数多くの実績を残してきました。これからは、(一社)大森工場協会は会員の皆さまと共に、その実績を一層発展させるために努力する覚悟でありますので、今後ともよろしくお願いいたします。



一般社団法人 大森工場協会
第69回定時社員総会を開催

一般社団法人 大森工場協会の、定時社員総会が五月二十七日(火)、大田文化の森第四集会室で開催された。一般社団法人 大森工場協会は、公益法人制度改革に基づく一般社団法人への移行認可後二期目、協会設立通期で第六十九回の開催となる。
当日は協会役員各位のほか、大田区から産業経済部鴨志田隆部長、(公財)大田区産業振興協会野田隆理事長他多数のご来賓のご臨席をいただいた盛大な総会となった。
竹内副会長の開会の辞にて総会が始まり、冒頭、舟久保利明会長は「アベノミクス効果は少しずつ上がつてはいるが、我々中小企業へはまだ浸透しているとは言えない。大田区のモノづくりは品質、納期等にかけては絶対的に世界一であると考えている、先代より企業経営に誇りをもってモノづくりをやってきた、その精神、気概を忘れてはいけない、時代が変化していく中で皆さんと情報交換を旺盛にし、地域的繋がりを大切に、連携を密にして頑張っていきたい」と挨拶した。
総会議事では、舟久保会長を議長に、事務局長の司会で、平成二十五年度事業・決算報告がなされ、さらに平成二十六年度事業計画・予算計画の審議が行なわれ満場一致で承認された。
また、今回は、役員改選期にあたるためその改選をおこなった。結果、従来理事十名の再任、YMCクラブ新幹事長関英一氏の理事就任による一名増員計十一名及び監事二名(再任)が選任可決決定され、総会は滞りなく終了した。
なお、総会後の理事会において、理事の互選により舟久保理事が引き続き会長に、竹内、木村、森崎、丸山理事が副会長にそれぞれ再任された。

Table with columns: 番号, 区分, 役職名, 新・再, 氏名, 会社名. Lists new and re-elected board members and supervisors.

※理事1名増員→11名体制 監事2名

幹事長就任挨拶

一般社団法人大森工場協会 YMクラブ新幹事長
(有限会社関鉄工所 専務取締役)

関 英 一

第五十一回総会にて幹事長を任命され、御承認頂き有難う御座いました。柳沢幹事長の時に幹事を任されて以来、渡辺幹事長、上田幹事長と引き続き幹事として働かせて頂きました。

昨年、上田幹事長より次期幹事長をやってみないかとお誘いを受けたのですが、やはり悩みました。幹事は様々な方とお会いする機会が増えます、お会いした方からみればYMの代表と挨拶を交わしているという事になり初っ端の顔が私でいいのか、また、こんなに長く続いているYMクラブの重責を考えると簡単にはお受けできませんでした、更に、お酒を飲んで酔っている時の私に対する皆様のイメージと違い人前に立つ、挨拶をするというのが非常に苦手だということもお誘いを留まらず原因でもありません。

しかし、プレッシャーは人を育てるとの言葉も有り、今までも育てて頂いてますがさらに成長させてもらおうと、一念発起で受けてみる事にしました。そして、総会にて無事に御承認頂きましたが、早速の就任挨拶となります。就任した際の挨拶用に文面を考えてはありましたが、結局言おうとしていた事の半分も話せず、これでは終われないと考えていなかた事を話そうとしましたが既に頭は真っ白になっており、何が出来る訳も無く終了、初回より不甲斐なきが出てしまいました。これをバネにして次は上手く、その次は更に上手く話せれる様に成長出来ればと思っています。こんな私ですが温かい目で見守って頂けます様御願ひ致します。

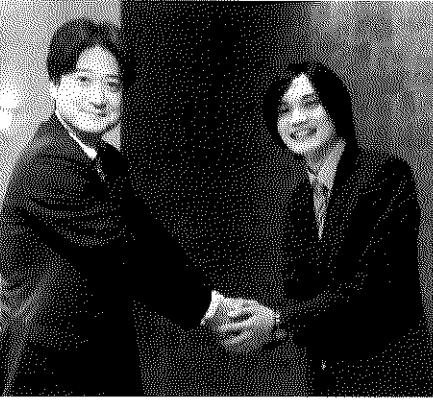
YMクラブ幹事長を経験して

一般社団法人大森工場協会 YMクラブ前幹事長
(株式会社上田製作所 代表取締役)

上田 大 輔

二年前の四月に伝統あるYMクラブの幹事長に就任をいたしました。前幹事長よりお話を頂いたときは自分には力不足と感じましたのでお断りをさせて頂くつもりでした。しかし悩んだ結果、せっかくお話を頂いたのだからやってみよう！と思いきや結果として幹事長をやってみて良かったと思っております。幹事長として計画的に行事を進めていくことが、経営者として事業の進め方を仕組化する大きなヒントになりました。

また、月一回の幹事会において司会進行をさせて頂いたのですが、そこで学んだことを社内会議などで活用をいたしました。当たり前のことですが、司会進行は会議がスムーズに進むことを一番に考える必要があります。そのためには意見を聞き、発言者に意見の意図を確認し、議事録にまとめる。最終的に集まった意見を簡潔に述べて最終決断を出席者に促す。社内会議においてもこの方法で以前よりスムーズな会議になったような気がします。



そして、多くの方々と知り合いになれたことが一番よかったと感じております。経営者として未熟な私にとって大先輩方の経験談を伺うことが出来たのは非常に大きな経験となりました。同僚の経験談と同じような問題にぶつかった時に「そういえば、〇〇社長はこんな話をしていたな。それで問題を乗り切ったな。」そんなことを思い出して私自身も対応したことは多々ありました。今後YM会員として多くの行事に参加しさらに交流の場を広げていきたいと思っております。最後にYM会員の皆様方、そして幹事の皆様大変お世話になりました。ありがとうございました。

新卒採用を始めて

株式会社昭和製作所 代表取締役社長 舟久保 利 和



当社が本格的に新卒採用を始めて2年目になります。最初に動き始めたのが、2012年の丁度今くらいの時期だったと思います。地元の工業高校や、ご紹介いただいた工業系の専門学校に求人票をおいて回りました。時には、大田区産業振興協会の主催する若手求職者とのマッチングフェアにも参加しました。結果、2013年の4月には3人(大卒、高卒、高卒)が入社してく

れました。そして、今年2014年の4月には、学卒中心で全国的に募集をかけ、新たに3人(院卒、大卒、専門卒)を迎え入れました。一番驚いたのは去年で、エントリーでは200人、説明会では40人(20人×2回)もの学生さんたちが参加してくれ、中には旧帝国大学のT大やQ大の子たちもいました。今の若者は町工場になど興味がないと思っていましたので、他人事のように「すごいねえ」などと言っていたのを思い出します。

内定までの過程は、1次が会社説明会&書類選考、2次が集団面接、3次が個人面接、最終が社長の私との一日同行です。そのほとんどに私は出席して、幹部社員と共に新しい家族を選んでいきます。内定が決まった後には、入社までの10か月弱は社内でのインターンや社外セミナーへ参加してもらったりしながら、会社から距離がでないように春の入社に備えてもらいます。そして、入った後は、幹部を中心とした社員からの各種レクチャーや私との交換日記(一年間)をしながら、会社に慣れ先輩社員に慣れていってまいります。

正直、かなり労力かけています。この時期の仕事量は倍増しました。そして、お金もかかります。ですが、人に始まり人に終わるのが経営ならば、採用への投資はもつとすべきだと思っています。

まだ、何か月も経っていませんが、すでに各部署で活躍を始めてくれています。今年で、採用活動三期目を迎えますが、今まさに選考の真っ最中です。来年には新たな家族が2人増える予定です。

社長が無能ですから、有能な次世代の力を大いに借りたいと思っております。(笑)

平成二十六年 新年賀詞交歓会開催



平成二十六年一月二十四日(金)、大田文化の森五階多目的室にて(二社)大森工場協会並びにYMクラブ共催により、新年賀詞交歓会を開催しました。

当日は、協会会員、YMクラブ皆さんの方々にご出席いただき、松原忠義大田区長をはじめ、多数のご来賓の方々のご臨席されました。

冒頭、舟久保会長は「協会会員数が年々減少傾向にあるが、着実に若手への世代交代は進んでいる、今後若い世代による明るい経済が生れるものと大いに期待している、今年も皆様と共に頑張っていきたい」と挨拶されました。

第一部では政策研究大学院大学特任教授橋本久義氏による新春講演会、「今年の日本経済はアベノミクス効果により、午尻さがらず、良き経済状態で推移するとの見解を示され、また「中小企業が減れば、日本経済が減びる」、「製造業無くして日本無し、中小企業なくして日本無し」との力強い言葉により大変勇気つけられた講演内容となりました。

次に、松原大田区長より「大田区のものづくりを世界に示していくためにも、大田区としても出来る限り応援していきたい」とのご挨拶を頂き、(公財)大田区産業振興協会野田隆理理事長のご挨拶、産業経済部産業振興課濱口課長の乾杯首頭にて第二部懇親会に移りました。

余興の場では、毎年恒例となりましたカプセルクイズ(昨年一年間の出来事等)の解答が発表され、正解率の高い方々へ景品贈呈が行われる等意気盛大なる新年のスタートとなりました。

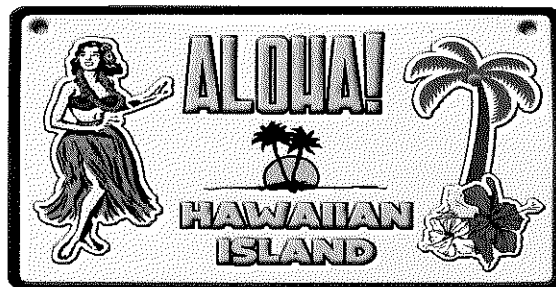
会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。平素は当協会並びにYMクラブの運営に格別のご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。今年も恒例の待ちに待った 納涼会 の時期がやってきました。今回は、地元ハワイアンサークルの皆さんによるウクレレ演奏と優雅なフラの舞で楽しんでいただきたく企画いたしました。蒸し暑い夏の夕べのひと時を冷たいビールでハワイアンを楽しみながら、会員並びにご家族、従業員皆様お誘いのうえ、ご参加いただきお過ごしなされては如何でしょうか。多数のご参加をお待ちしております。



納涼会のご案内

Y M 大森工場協会 共催

- 日時 平成26年 8月 22日 (金) 午後6時30分～
- 会場 大田文化の森 5階 多目的室
- 参加費 3,500円
- 申込み 平成26年8月7日(木)までに、会費を添えてお申し込み下さい。振込先 東京都民銀行 大森支店 普通預金 0204767 一般社団法人大森工場協会
- 入場券 受付にてお渡しします。お弁当と引き換えて下さい。
- アトラクション

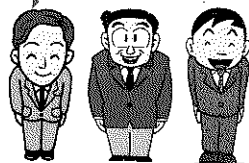


当、(一社)大森工場協会会員企業であるトキワ精機(株)社長夫人木村みや子さんが主宰するフラグループとウクレレグループ「ロコモコレレ」の皆さんです。主に地元通所介護施設(ディサービス)等を活動の中心とし高齢者・介護者とのふれあい、コミュニケーション機会を大切に地域に密着した、幅広い活動を行っています。ちなみにウクレレグループ名「ロコモコレレ」とは、ハワイ料理「ロコモコ」と「ウクレレ」が由来です。

***** メンバー *****

- | | |
|-------|-----------|
| ウクレレ | フラ |
| 福井、久保 | 氏家、幹太(小5) |
| 西山、伊藤 | 木村 |
| 高橋、山崎 | 太陽(中1) |

わが社紹介

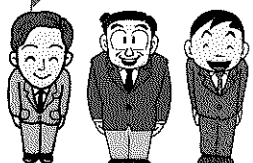


株式会社 エース

株式会社 エース 代表取締役 西村 修

当社は1974年先代である父が大田区山王にて機械商社として創業しました。客先からの依頼が多様化していき1977年製造部門を立ち上げ、主に自動車部品メーカーの専用機を手掛けまいりました。バブル崩壊後は試作、治具、精密部品加工に特化して大田区という地の利を生かし、多工程部品の超短納期対応で価格競争に巻き込まれないモノづくりを目指しております。品質、納期厳守を徹底させて現在では自動車メーカー(関連メーカー)、鉄道関連とさまざまなお客様のお手伝いをさせて頂いております。当社の大きな特徴は協力メーカーの多さにあります。営業に力を入れて協力メーカーには「御社の東京営業所」と位置づけして頂く事で製缶からゲージまであらゆる部品を青森から鹿児島まで全国およそ370社(大田区50社)で加工して頂いております。社是にも掲げています「周愛信自」。造語ですが、お客様と協力頂く方々それぞれに感謝し、自分を信じて進んでいく。この言葉を合言葉に邁進してまいります。また、下町ボブスレープロジェクトに参加した事で同じ世代がこんなにも大田区でものづくりを頑張っている事が嬉しく、この度YMクラブに入会させて頂きました。諸先輩方に貴重なアドバイスを頂きながら次世代の我がが大田区を一層盛り上げていきたいと思っております。

わが社紹介

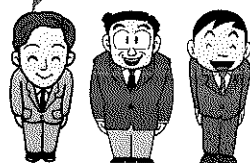


ムソー工業株式会社

ムソー工業株式会社 開発 尾針 徹治

弊社は昭和25年、当時武蔵工業大学(現:東京都市大学)で旋盤の教員として勤めていた祖父嘉一により創業されました。当初は商社的に活動しておりましたが、父輝男の代でメーカーとしての方向へ大きく舵を切り、工作機械の導入を進めてきました。主に製造しているものは試験片と呼ばれる、材料の「かたさ」「ねばさ」「もろさ」といった特性を調べるための金属片です。こうした特性を調べるための一般的な方法は試験機で試験片を破壊することです。試験片の一番の特徴はこの「破壊するために作られる」という点で、街中で何か物を指をさして「あれはうちの製品だよ」とか「〇〇の中にはうちの部品が入ってるんだよ」とか言うことはできませんし、大抵はどんな用途で開発しているかすら教えてもらえないことが多いので、弊社で製作した試験片が世の中でどんな役に立っているのかイメージしにくいところもあります。また開発する材料や研究テーマの変化に応じて、要求される試験の内容も変化していくので、頻繁に仕様書が変わったり、後から何度も図面が変更されたりもします。こうした課題の中には独力で解決することが難しいものもありますが、そんな時に仲間の助けで乗り越えられたこともしばしばあります。そのような素晴らしい仲間が少しでも近づけるよう日々研鑽を積み、依頼主や仲間の課題解決のお手伝いができるような会社になれるといいなと思っております。

わが社紹介



堤工業株式会社

堤工業株式会社 代表取締役 栗原 良一

当社は昭和28年9月に先々代の栗原三郎が設立して今年で62年になります。主にプラスチックの切削加工を行っており、汎用プラスチックはもちろんのこと、エンジニアプラスチック、熱硬化性樹脂など、幅広いプラスチック材料の加工に対応致しております。最近では、同じプラスチック加工業者様でも加工を避ける傾向にあるGFRP(ガラス繊維強化プラスチック)の加工に力を入れており、特に板厚が3mm以下の薄物の加工においては長年の経験と技術を活かし、お客様に喜んでいただける製品を提供させて頂いております。私たちが何気なく過ごしているこの世界はたくさんのモノで溢れています。例えば、今では生活の必需品となったパソコン、または携帯電話、自動車や鉄道、飛行機、そしてロケットまで、ありとあらゆるモノの中にプラスチックの部品が使用されています。大切な人に電話やメールで気持ちを伝えたり、乗り物に乗って会いたい人に直接会って笑顔や涙が生まれたり。私たちが作る部品は小さくて目に触れる場所がないかもしれませんが、モノを通して人と人をつなぐ役に立っている。いつの日かそう感じるようになってきました。これからも「感謝」と「つながり」を大切にし、そして「お客様のために私たちにできることは何か」を常に考え、皆様のお役に立てるよう精一杯努力していきたいと思っております。

会員だより

- 住所変更・本社移転
 - 株式会社山陽計器製作所
 - 東京都品川区南大井6-11-9 MYハイツ201号にH26.6本社移転しました。(TEL・FAXに変更ありません)

お知らせ

- (一財)全国中小企業共済財団(全共済)の認可を受け、生命共済の取扱いを開始しました。事業所の福利厚生にお役立て下さい。
- 事業系:大田区有料ごみ処理券の販売を開始しました、お気軽にお申込み下さい。

種類	1セット単価(新料金)
特大(70ℓ用)	5枚綴り 2,415円
大(45ℓ用)	10枚綴り 3,100円
中(20ℓ用)	10枚綴り 1,380円
小(10ℓ用)	10枚綴り 690円
有料粗大ごみ処理券	A券 1枚 200円
〃	B券 1枚 300円

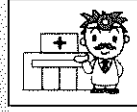
事業主の 皆様へ

労働保険事務組合をご存じですか？

お申し込み・相談窓口

労働保険のことなら、何でも！

(一社)大森工場協会 労働保険事務組合へ
TEL 03-3771-4744 FAX 03-3772-9340



「労働保険料の徴収等に関する法律」に基づき、厚生労働大臣が認可した団体で、本来事業主が実施すべき労働保険事務（雇用保険・労災保険）を、事業主にかわって行なうことができる団体のことを言います。

当（一社）大森工場協会もこの制度の認可を受け、協会の一大事業として、会員各位の経営管理の一翼を担っております。

労働保険事務組合に委託できる事務は

雇用保険・労災保険の加入手続きから、労働者を雇用した場合の届出や、労働者が離職した場合の届出、その他保険料の納入に至るまで、労働保険全般にわたり事業主にかわって手続きします。

その主要なものは、次のとおりです。

- ①概算保険料、増加概算保険料、確定保険料の申告、納付
- ②保険関係成立届（雇用保険・労災保険の加入）、任意加入の申請手続き
- ③労災保険の特別加入申請・変更・脱退等の手続き
- ④雇用保険の被保険者に関する届出等の提出手続き
- ⑤その他、労働保険の適用徴収に関する申請、届出及び報告等の手続き

労働保険事務組合に委託するには

至って簡単、当事務組合に申し出ていただき、「労働保険事務委託書」に記入していただくだけで、委託手続きは終了です。

労働保険事務組合に委託した場合のメリットは

- ①煩わしい事務処理が不要になり、事業主の事務負担が軽減されます。また、委託料も低く設定されているので経費負担も節減できます。（概算保険料額の5.5%）
- ②労災保険に加入することができない、事業主や会社役員、家族従業員等も特別に加入することができます。（月額最高60万円の労災補償）
- ③労働保険料は、金額の多少にかかわらず、年3回に分けて納入することができます。

「とうきょう共済」の火災共済・自動車共済 ご加入のご案内

協会では会員に対する福利事業として、とうきょう共済の代理所となって火災共済保険と自動車総合共済保険への加入をお勧めしております。平成25年度末現在の火災共済の加入状況は、76件、25億9,640万円の加入をいただいております。皆様すでにご承知いただいているところですが、「とうきょう共済」は、他の損保の保険等とは異なり、中小企業のみを対象として、共済の観点からも利益の追求を目的としない仕組みとなっております。

とうきょう共済の担当者と協会が一体となって、サポートをしています。是非ご検討をいただくよう、よろしくお願い申し上げます。

火災共済

- 1. 非営利団体のため安い掛金
一般の火災保険に比べスリムな掛金の為、経費節減が出来ます!! ※条件により異なる場合があります。
- 2. 剰余金を還元
決算の結果、剰余金が生じ、その契約が無事故の場合、利用分量配当で還元致します。
(平成25年度5%配当割戻し!)
- 3. 万一のときも、共済金の支払いは迅速かつ有利
※事故の内容により、お時間を頂く場合があります。
- 4. 協会が窓口（代理所）ですので安心
中小企業者専門の都内唯一の共済組織です。

自動車総合共済

- 1. 国内損保よりも掛金が安く経費の削減
※条件により異なる場合があります。
- 2. 自動車保険の無事故割引はそのまま継承
- 3. 各種お得な割引
- 4. 早くて親身な事故処理サービス
★万一の事故の場合、事故処理の専門家が迅速に相手と対応します。
★加害事故では最後まで示談交渉を行います。また被害を受けた事故の場合は、解決へのアドバイスを致します。
- 5. 特別の見舞金制度
(対物事故で3万円以下支払いは、翌年の掛金は上がりません。)
(元受 全国中小企業共済協同組合連合会)

とうきょう共済

東京都火災共済協同組合
東京都中小企業共済協同組合

〒104-0061 東京都中央区銀座2丁目10-18
東京都中小企業会館2階
TEL 03(3542)0271
FAX 03(3545)8606
URL <http://www.tokyo-kyosai.or.jp/>

生命共済制度 加入のおすすめ

(一社)大森工場協会では、(一財)全国中小企業共済財団(全共済)の生命共済を取り扱っています。
お問い合わせは(一社)大森工場協会(電話 3771-4744)まで

生命共済制度(災害保障特約付福祉団体定期保険)の特徴

- 1. 安い掛金で、無診査(告知のみ)で加入できます。
- 2. 掛金は全額損金に算入できます。
- 3. 企業の福利厚生に適しています。
- 4. 加入月は毎月1日です。

加入資格と満了年齢

(一社)大森工場協会の協会会員および従業員のみ加入資格があり、満年齢15歳から64歳までの方が加入できます。1年ごとに自動更新され、満70歳の年度末まで継続できる制度です。

保障内容と掛金

病気による死亡・高度障害(1口100万円)とケガによる死亡・高度障害(1口200万円)及びケガによる障害と入院を保障します。

掛金は、年齢にかかわらず月額1口950円です。加入は最大2口です。

配当金(契約者配当金)

年度末に収支を計算し、剰余金が生じた場合は配当金(契約配当金)として返還します。

配当金(契約配当金)はお支払時期の前年度決算により決定しますので、将来お支払する配当金額は現時点では確定していません。

年 度	24年度	23年度	22年度
配 当 率	70.10%	72.10%	68.70%

*詳しい保障内容等につきましては、パンフレットをご覧ください。